



2022年8月16日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾ミュージアム・コモンズ現代美術展
「大山エンリコイサム Altered Dimension」開催（10/17～12/16）

独自のモチーフ「クイックターン・ストラクチャー（QTS）」を、壁面やキャンバスなどさまざまな媒体の上で展開させることで知られる美術家・大山エンリコイサムの新作を中心とした展覧会です。大山は、慶應義塾で学んだのち東京藝術大学大学院へと進み、東京とニューヨークを拠点に制作活動を行っています。2021年の慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）開館の際には、館内スタジオにコミッションワークを制作。今回、KeMCo初の現代美術展開催にあたり再び協働します。近年は、平面と立体、二次元と三次元の揺らぎのなかに生じる重なりやずれへと、その関心を広げる大山。大学ミュージアムという実験場にQTSが展開していく様をぜひお楽しみください。

1. 基本情報

会 期：2022年10月17日（月）～12月16日（金）（土日祝休館）
特別開館 11月5日（土）、12月3日（土）
（臨時休館 11月7日（月）、12月5日（月））
会 場：慶應義塾ミュージアム・コモンズ（三田キャンパス東別館）
開館時間：月～水 11:00～17:00、木・金 11:00～19:00（特別開館日は11:00～18:00）
入 場：無料
※詳細は KeMCo ウェブサイトをご確認ください。<https://kemco.keio.ac.jp/>

2. 展覧会の概要

慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）では、展覧会「大山エンリコイサム Altered Dimension」を開催いたします。

都市のさまざまな場所に名前をかき残していくライティング文化に関心を寄せ、エアロゾル・ライティングの文字形体を抽象化・反復し再解釈した独自のモチーフ「クイックターン・ストラクチャー（Quick Turn Structure; QTS）」を展開する美術家・大山エンリコイサムは、慶應義塾志木高等学校、慶應義塾大学環境情報学部で学んだのち東京藝術大学大学院へと進みました。慶應義塾においては、志木高等学校卒業時に制作された《慶應義塾志木高等学校 壁画》（2003年）が残され、また、KeMCo開館に際しコミッションワーク《FFIGURATI#314》（2020年）が制作されました。

大山の問題意識のひとつとして、QTSにおける正面性の問題がありますが、近年はそこから派生し、平面と立体、二次元と三次元の揺らぎのなかに生じる重なりやずれへとその関心を広げています。また QTS が横断する支持体の素材やメディアの組み合わせによって、知覚を揺さぶるような実験的制作にも取り組んでいます。

新作を中心とした本展覧会では、単純に切り分けることのできない次元のつらなりやシステムの乱れから生じる事象をとおして、QTS の新たな造形を引き出そうとする大山の思考に迫りませぬ。

大山エンリコイサム (おおやま・えんりこいさむ)

美術家。エアロゾル・ライティングのヴィジュアルを再解釈したモチーフ「クイックターン・ストラクチャー」を起点にメディアを横断する表現を展開。イタリア人の父と日本人の母のもと、1983年に東京で生まれ、同地に育つ。2007年に慶應義塾大学卒業、2009年に東京藝術大学大学院修了。2011-12年にアジアン・カルチュラル・カウンシルの招聘でニューヨークに滞在以降、ブルックリンにスタジオを構えて制作。マリアンナ・キストラー・ビーチ美術館（カンザス）、ポーラ美術館（箱根）、中村キース・ヘリング美術館（山梨）、タワー49 ギャラリー（ニューヨーク）、神奈川県民ホールギャラリーなどで個展を開催。『アゲインスト・リテラシー』（LIXIL 出版）、『ストリートアートの素顔』（青土社）、『ストリートの美術』（講談社）、『エアロゾルの意味論』（青土社）などの著作を刊行。『美術手帖』2017年6月号を企画・監修したほか、コム デ ギャルソン、シュウ ウェムラ、JINS、アウディとのコラボレーションも手がける。大相撲令和4年1月場所では、横綱照ノ富士の三つ揃え化粧まわしにアートワークを提供し、話題となった。2020年には東京にもスタジオを開設し、現在は二都市で制作を行なう。

<https://www.enricoisamuoyama.net>

3. 参 考 作 品

1. 大山エンリコイサム 《FFIGURATI #314》2020年、慶應義塾ミュージアム・コモンズ
2. 大山エンリコイサム 《FFIGURATI #318》2020年



1. Photo © Shu Nakagawa



2. Photo © Shu Nakagawa

4. 関連イベント

1. アーティスト・トーク（事前予約制）
2. 記録集 2023年3月刊行予定

※イベントの詳細は KeMCo ウェブサイトをご確認ください。 <https://kemco.keio.ac.jp/>

5. 会場案内

会場：慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo)

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス東別館

交通アクセス：田町駅 (JR 山手線/JR 京浜東北線) 徒歩 8 分

三田駅 (都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩 7 分

赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩 8 分



ミュージアム・コモンズ
(三田キャンパス東別館) 外観

6. 主催・運営

主催：慶應義塾ミュージアム・コモンズ

協力：Takuro Someya Contemporary Art、(株) 中川ケミカル

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室 (豊田)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>